

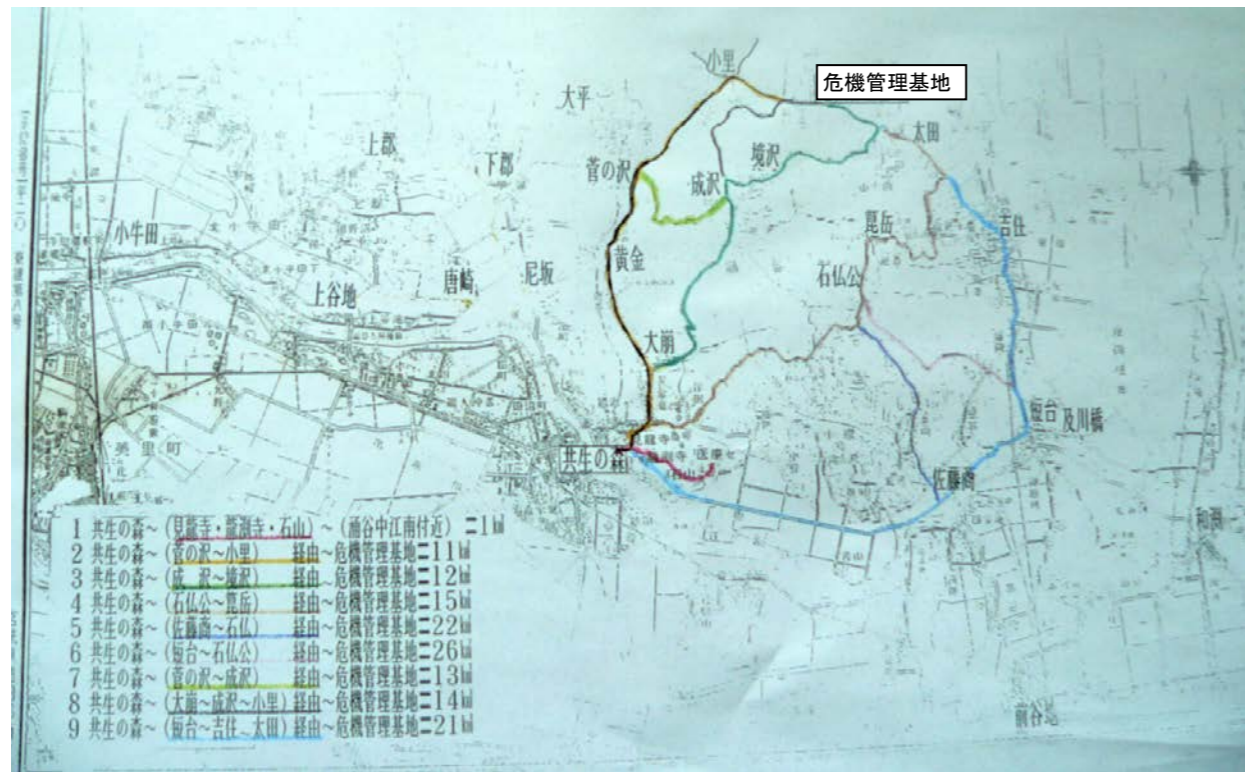
私たちの避難所として地域と交流を図り、安心・安全・安定を標榜し運営します。

危機管理基地(避難所)について

平成23年3月11日の東日本大震災と9月15日の豪雨による避難指示を受けたことにより共生の森は江合川の決壊等を考えると、どうしても利用者43名の安全・安心・安定のために避難所の設置が急務と考えました。

ちょうど空き家の持ち主が計画に理解を示していただき、理事会に諮り譲っていただきました。今後は、共生の森避難所と備蓄倉庫として管理すると共に、地域懇談会(会長 大田地区行政区長)を組織し地域の利用を含め共生の森利用者及び地区の皆さんの安全確保の施設として使用していきます。

アクセスマップ



共生の森 
危機管理基地(避難所)



地域密着の施設
-ライフラインの充実-

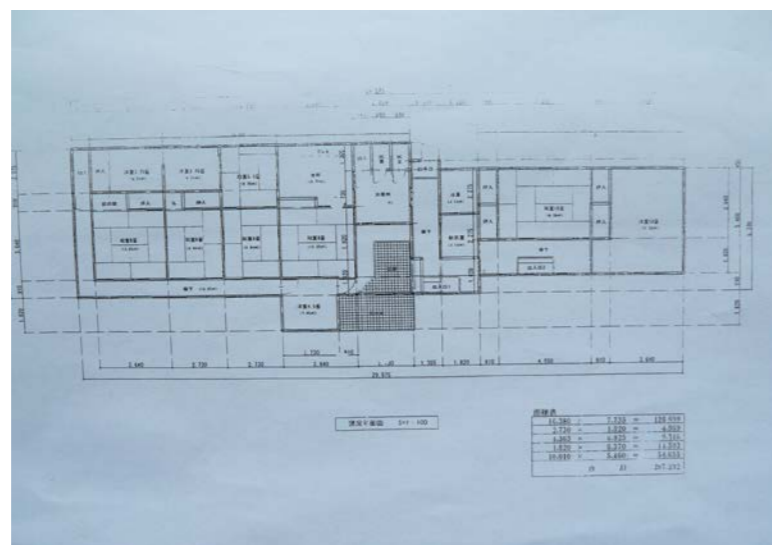
住所: 宮城県遠田郡涌谷町太田陀々羅丘50番地

運営法人 社会福祉法人 共生の森

住所: 宮城県遠田郡涌谷町涌谷字築道西1-2

TEL: 0229-42-2589 FAX: 0229-42-2593

平面図



施設は安全、安心しての生活を目指して整備を進めています！！

備蓄品 発電機・投光機・ライト・ラジオ
炊飯器・ヘルメット・保存水
保存食・寝具・食料・その他
日用雑貨が 準備されております。



防災に役立つ広い敷地



| | | | |
|------------|-----------------------------------|--|---|
| 危機管理 | 災害（特に水害）火災により甚大な被害を受けた時緊急避難場所とする。 | 1 共生の森総務部内の事務機能の確保 2 利用者支援機能の確保 3 災害時緊急支援物資備蓄基地 | 1 利用者及び役職員の人命を最優先させる 2 利用者の家族及び地域住民を受け入れる 3 町内在宅の障害者と家族を受け入れる 4 協力関係にある市町村の福祉施設の利用者と関係者を受け入れる |
| 就労・授産 | 自然環境を有効に生かせる支援の場とする。 | 個人単位の支援を重視した施設を目指す。 自分らしく生きる!! 自分の個性を活かして自分の花を咲かせて実を結ばせよう。 | 1 障害の程度内容、知的能力、身体能力、性格、会話等を考慮した支援 2 目標、希望、夢を叶えるため、また、趣味、特技を活かせる支援 3 充実感、満足感、達成の喜びを心と身体で感じられるように ●安定、感性、感情を育む（セラピー効果） ①草花を育てる、花を観る、花に触れる香りを嗅ぐことなど ②小動物を飼育する、小動物に触れることで情操の安定や感情を育む |
| 地域と共存を目指して | 地域に密着した場とする | 地域の人達と交流を深め憩いの場、コミュニティの場となるように | ①農作業の手伝い、畑や庭、家の周りの草取り、片付けの手伝い ②地域の高齢者との関わりを持ち利用者が力になれないか |



夏は涼しく、冬は暖かい萱葺屋根の大きい家です。



落ち着いて生活出来る座敷



車イスも準備しております



リサイクル品として提供された用品、再生備品に



心の中まで温まる「お風呂場」



地域懇談会を開催